

|       |                         |       |                   |
|-------|-------------------------|-------|-------------------|
| クラス番号 | 212                     | ゼミタイプ | サービスマーケティング（NPO）型 |
|       |                         | 担当教員名 | 原田正樹              |
| テーマ   | 知多半島の活動から「ふくし」のつくり方を学ぶ。 |       |                   |

## ゼミナール概要

【目的】 知多半島をフィールドに、サービスマーケティング（地域貢献学習）を通して、地域や活動の課題を「把握」して、自分たちが貢献できるプログラムを「企画」し、それを協働して「実践」し、その「リフレクション」から、一人ひとりの「市民力」を高めていく。

### 【内容・方法】

これから日本社会は人口が減少し、単身世帯が急増していきます。過疎化と都市化が二極化し、社会的孤立など課題が山積しています。でも悪いことばかりではありません。そうした地域課題に対して、他人任せにするのではなく、自分たちで行動や提言をしていこうという動きがあります。資源が無ければ自分たちで創り出そうという試みも、各地で始まっています。

知多半島という地域には、そうした志のある地域住民やNPO、社協や施設のワーカーが大勢います。知多半島には5市5町あり、人口は約63万人です。南部と中部、北部では、見事に地域特性が違います。それにより地域課題も様々です。ある意味、現代の日本の縮図であり、知多半島をフィールドにして様々なことを学ぶことができます。知多半島にはユニークな活動がたくさんあります。そこに暮らす様々な人たちの生きづらさや葛藤、一方で生きる喜びや感動をわかちあひながら、課題解決に必要な活動や仕組みをつくっています。

サービスマーケティングでは、そうした地域活動に学びながら、直面している課題を「把握」し、自分たちに何ができるかを「企画」します。それを実際に「実践」させてもらいます。こうした一連の活動を「リフレクション」することで、専門職である前に、一人の市民として地域をよりよくしていくためにできること、「市民力」を身につけます。この力は専門職になっていくために大切な基礎になっていきます。

### 【授業計画】

- 4・5月 NPO や現地の課題・ニーズを「把握」する
- 6・7月 地域貢献活動の計画を「企画」する
- 8・9月 NPO での地域貢献活動（5日間）「実践」する
- 10・11月 活動の「リフレクション」と報告会
- 12・1月 グループ研究

## 担当教員からのメッセージ

サービスマーケティングは、年間を通して大変な活動だと思います。自分たちが納得できるまでミーティングを重ねることも有ります。何より大変なのは学生だけではなく、そこに「ニーズ」があること。いろいろな人たち（自分のまちをよくしたいという熱い思いのある市民、多世代の市民、生活のしづらさがある市民、専門職の人たちなど）と活動できることも醍醐味です。

今まで知らなかった分野や地域の活動を「市民の目線」で捉えて、自分も一緒に活動してみること。それはきっとあなた自身の成長につながるプログラムになるはずです。自信がなくても大丈夫です。みんなで相談しながら進めていきましょう。